



平成28年8月24日
阿南市 産業部 商工観光労政課
岡山理科大学 学生支援機構 キャリア支援センター
徳島河川国道事務所 交通対策課

岡山理科大学の学生が道の駅「公方の郷なかがわ」で就労体験！

～道の駅の新たなイベントの企画提案や情報発信を行います。～

- 国土交通省では、地域の観光資源や魅力が集まっている「道の駅」を、観光振興や地域づくりを学ぶ学生の実習の場として活用することを進めております。
- この度、全国「道の駅」連絡会が協定締結大学と調整を行った結果、岡山理科大学の学生1名が道の駅「公方の郷なかがわ」で就労体験を行うこととなりましたのでお知らせいたします。

【期間】

平成28年8月26日(金)～9月9日(金)

【場所】

道の駅「公方の郷なかがわ」(徳島県阿南市那賀川町工地803番地)

【内容】

- ・「公方の郷なかがわ」ならではのイベントの企画
- ・県南の観光資源を調査し観光プログラムを企画
- ・ホームページなどの作成、情報発信
- ・物産館のレイアウトの検討、商品のポップ広告等の製作

本施策は、四国圏広域地方計画「No. 3美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト等」に該当します。

●現地取材と実施状況に関する問合せ先

【道の駅「公方の郷なかがわ」】

阿南市 産業部 商工観光労政課(TEL:0884-22-3290)

◎課長補佐 湯浅 基和(ゆあさ もとかず)

【岡山理科大学】

キャリア支援センター(TEL:086-256-8627)

インターンシップ担当 河野 恵美(かわの えみ)

●「道の駅」と大学の連携に関する問合せ先

【国土交通省 徳島河川国道事務所】(TEL:088-654-9622)

副所長 檜田 幸伸(ひのきだ ゆきのぶ)

◎事業対策官 江川 昌克(えがわ まさかつ)

<◎:主たる問合せ先>

- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、地域づくりや観光学等を学ぶ若者が交流することで、**新たな価値の創造**を図り、観光・地域づくりを担う**将来の人材を育成**。**地方創生**にも寄与。
- 「道の駅」で学生が夏季休暇を利用した実習を実施予定
※この他にもゼミ単位での通年での実習を実施

<実施イメージ>



<実施のメリット>

<大学のメリット>

- **道の駅は、地域の資源が集中し、地方が直面する課題が明確であり、学習するフィールドとして最適**

<「道の駅」のメリット>

- **若者ならではの視点**、若者の元気による実行力のある企画の実施
- **SNSや口コミ**などを活用した**情報発信**

【道の駅「公方の郷なかがわ」】

道の駅「公方の郷なかがわ」は、徳島市より国道55号を南下した一級河川那賀川の河口に開けた平野、阿南市那賀川町のほぼ中央に位置し、平成12年8月にオープンしました。

道の駅の名称は、当地に室町時代から約270年間、居を構え地元の人に親しまれた足利公方にちなんで名付けられ、建物は那賀川上流の木頭杉を使用し、「公方の館」をイメージした木造平屋建てとなっています。

駅内には、県南や那賀川流域の特産品を販売する「物産展示コーナー」や那賀川平野で育った新鮮な野菜やとれたての海の幸などを直売するJA「とれとれ市公方」などが人気を呼び年間20万人の利用があります。

夜には、徳島県「光の八十八カ所」にも認定されたLEDのイルミネーション「ナカちゃんモビール」「クリアパネル」が輝いています。



「公方の郷なかがわ」の全景



JA「とれとれ市 公方」



岡山理科大学の全景



学内でのインターシップ発表会

【岡山理科大学】

岡山理科大学は、1964年に設置され、開学当初は理学部に応用数学科と化学科という1学部2学科でのスタートでした。

現在では「理学部」・「工学部」・「総合情報学部」・「生物地球学部」・「教育学部」から構成され、およそ6,200人の学生が在学しています。建学の理念は「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する」となっています。

当大学では、学生が自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことで社会への視野を広げ、社会人としての能力を向上させることを目的として、全学部2・3年生に向けてキャリア支援科目「インターンシップ」を開講するとともに、「キャリア支援センター」で情報提供やアドバイスなどを積極的に行っています。